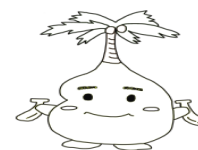


# 大王やし



発行所 台中日本人学校(台中市日僑学校) 電話

ホームページ <http://tjs.ehosting.com.tw/>

e-mail [tjs97@ms18.hinet.net](mailto:tjs97@ms18.hinet.net)

FAX

## 校長室から

校長 田中 肇

### 理不尽をバネに

突然、皆さんが楽しみにしていた運動会や中学部の修学旅行などが中止となってしまいました。本当にガッカリするばかりです。「悲しすぎる、何とかならないのか、どうして今なんだ、私たちが何か悪いことをしたというのか。」という悲しみやどこにぶついたら良いのかわからない怒りの思いが私にも伝わってきます。

天災、不慮の事故、戦争等々で誰のせいでもなく多くの方が死傷したり、大きな悲しみやつらい思いをするような出来事を「理不尽」と呼びます。特に小学部高学年から中学生や高校生の時に理不尽と思うことをいくつも経験し大人になっていくことも事実です。これまで、人は今起こっている理不尽な出来事を悲しんで、前に進めないでいるよりも「これは今は何とも仕様ができないが、次に同じようなことが起こったときには、今回のような悲しい結果にならないように、私たちが何とかしよう」と、その時心に決めた若者たちが大人になって難病と言われた病気を治せるようにしたり、困っている人にも支援の手が差し伸べられる仕組みを作ったりしてきた実績がいくつもあります。

今突きつけられた課題の解決に立ち向かう意思をもち、今自分にできることを伸ばし、いつの日か課題を解決した一人となってください。自分のやり方で構いません、今の理不尽な出来事を忘れず、いつの日か必ずやっつけてやるぞと闘志を燃やす出来事になってくれれば、理不尽も無駄にはならないはずです。



コロナという滝を登り龍となれ！  
5月5日小学部こいのぼり集会より

## 結果を褒めるな、努力を称えよ

私が中学生に進路指導をしている時や自分の子どもの受験期に、指導者として親として意識していたフレーズがあります。「結果で褒めるな」です。とにかく、教師や親はテストの点数が良かった時に喜び、褒めます。この行為を続けると結果が悪いことを恐れ無難なことだけに頑張る子になっていく傾向があるという実験結果を紹介します。

### スタンフォード大学心理学部のキャロル・ドゥエック教授の実験

ドゥエック氏の研究では、5年生400人あまりに、言語を用いない比較的やさしいパズルを課題として与えた。テスト終了後、研究者たちは生徒たちに点数を伝え、簡潔な言葉でほめた。半分の生徒には彼らの知性をほめた(「あなたは頭がいいんだね」)。残りの半分には彼らの努力をほめた(「一生懸命やったね」)。

▼ 実験1:最初の生徒たちにまた別のテストを2種類与え、生徒たち自身にどちらか好きなほうを選ばせた。ひとつは最初のものより難しいパズルだが、やればとても勉強になると説明された。もうひとつは、最初のものと同様の簡単なテストだ。努力をほめられた子どもたちは、90%近くが、難しいほうのパズルを選択した。一方、賢さをほめられた子どもたちは、ほとんどが簡単なほうのテストを選んだ。ドゥエック氏によると、知性をほめられた子どもは、自分を賢く「見せる」ことに気持ちを向けるようになり、間違いをおかすリスクをとれなくなるのだと説明している。

▼ 実験2:次に、もっと難度の高いテストが与えられた(5年生に対して8年生向けのテストが与えられた)。賢さをほめられた生徒たちはすぐ挫折してしまっただが、努力をほめられた生徒たちは、このテストに熱心に取り組んだ。そして、このテストを受けた後で、両群の生徒たちは、成績が自分より低かった生徒と高かった生徒のうち、どちらかのテスト用紙を見る選択肢を与えられた。賢さをほめられた生徒たちは、ほぼ全員が、自分よりテストの出来が悪かった生徒と自分を比較することで、自尊心を強化するほうを選んだ。これに対し、努力をほめられた生徒たちは、自分より成績のよかったテストを見るほうを選ぶ確率が高かった。彼らは失敗を理解し、失敗から学び、よりよい方法を編み出したいと思ったのだ。

▼ 実験3:最後に、最初のテストと同様の難易度であるテストが行われた。努力をほめられた生徒たちは、テスト結果が有意に上昇し、平均スコアが30%伸びた。彼らは、たとえ最初は失敗しても挑戦することを望んだので、より高い成績を得たのだ。この結果をさらに際立たせるのが、最初にランダムに「賢い」グループとされた生徒たちのスコアだ。こちらは前回から20%近くも低下した。失敗の経験でやる気をくじかれた「賢い」生徒たちは、実際に退歩してしまったのだ。

## 5年生400人への実験 概要図

言語を用いないやさしいパズルAを実施	知性をほめられた生徒	努力をほめられた生徒
別のパズル2種類を選択させる B「Aより難しいが、勉強になる」 C「Aと同様の簡単なパズル」	ほとんどが簡単なほう のパズルを選択した	90%近くが、難しいパ ズルを選択した
もっと難度の高いパズルDを全員に実施	すぐに挫折してした	熱心に取り組んだ
Dの結果を知らせた後、他人の解答用紙 を見る選択肢(二者択一)を与える	自分より成績の悪かっ た人の解答用紙を選択 する確率が高い	自分より成績の良かっ た人の解答用紙を選択 する確率が高い
パズルAと同様の難易度であるパズルE を全員に実施	平均スコアが20%近く 低下	平均スコアが30%近く 向上

私は息子たちに対して努力したことを意識的に褒めるように心がけました。努力した姿を知らない友達や社会は結果で評価するのですから、せめて身近にいる親は頑張ったことを称えてあげようと努力しました（努力が必要です）。願わくば、身近で見ている先生も子どもたちの成長のため、結果については子どもと喜怒哀楽をともし、努力してきた過程を見逃さず褒めるようにしていきましょう。

この思考や実践が、子育て真最中の保護者の皆様の参考になれば幸いです。また、次代の教育界を担う台中校の先生方が、教育界の終盤が見えた私からのバトンを受け取ってくれたら幸せに思います。

保護者の皆様へ

学校閉鎖が6月14日まで延長となりました。今後の見通しも感染状況によるため、6月の行事予定は発行しません。見通しがつき次第、お知らせいたします。